

①授業の概要

単元名 「気仙沼復興プロジェクト わたしたちの町 未来の気仙沼」

- 目標
- ・復興を目指す気仙沼市の現状や課題を適切に捉え、自分たちの探究的な学びに生かしている。(思考・判断・表現)
 - ・観光・食品・町づくり等の様々な観点で気仙沼の持続可能な開発（復興）を見つめ、自分の考えを表現している。(思考・判断・表現)
 - ・単元を通して、地域の方々の思いを知り、よりよい未来の気仙沼について友達と考えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

- 手立て
- ① 中間発表会での友達からの「工夫する点」の付箋をグルーピングさせ、話合いの観点を持たせる。 【視点1ーイ】
 - ② 対話的な学びを確かなものにするためにチームごとに「更により発信をするために」という観点で話し合わせたり、全体で共有させたりする。 【視点2ーウ】
 - ③ 学びの深まりや考えの変容を実感させるために、友達のアドバイスや話合いで気付いたことについて振り返りをさせる。 【視点1ーウ】

②事後検討会から

成果【視点1ーア】（思いや考えを持たせる工夫）

- 友達のよいところを分かりやすく、要点を大きく書いたことでグルーピングしやすかった。また、見出しも付けてまとめることができた。
- ホワイトボードは子どもの考えを整理するのに有効だった。 【視点1ーイ】（思いや考えを伝え合わせる工夫）
- 付箋を基に活発な話合いを行い、今後の活動の見通しを持つことができた。 【視点1ーウ】（学びの成果を実感させる工夫）
- 友達からのアドバイスから今後の活動の見通しを持つことができたことで、活動の振り返りにもつながった。

課題【視点1ーア】（思いや考えを持たせる工夫）

- 今後も他教科との関連を図り、要点をまとめて自分の考えを書いたり、友達の発表を聞き、自分の考えに反映させたりできるように学習の積み重ねを行っていく。 【視点1ーイ】（思いや考えを伝え合わせる工夫）
- 自分の考えを自信を持って発表できるように発表の機会を多く設けていく。 【視点1ーウ】（学びの成果を実感させる工夫）
- 学習のゴールを明確にし、意欲を持続させていく。

続けていきたいこと

- ・ ホワイトボードを活用した話合いの仕方
- ・ 付箋などに個人の考えを書かせる活動
- ・ 自分の考えを発表させる機会の設定



【友達からのアドバイスを基に話し合っている様子】



【話し合ったことを発表している様子】